

次号予告

特集 シミュレーションの数理：最近の動向

- シミュレーションの数理的アプローチ ……逆瀬川浩孝 (早稲田大学)
複数の再生点列をもつ確率過程の効率的なシミュレーション ……Marvin Nakayama (New Jersey工科大学)
シミュレーションによる勾配推定の手法 ……三好直人 (東京工業大学)
離散パラメータに関するオンライン並列推定手法について ……石崎文雄 (南山大学)
サンプルパス最適化の確率的離散事象システムへの適用 ……石塚 陽 (上智大学)
山下英明 (東北大学)

編集後記

● 21世紀早々、米国カリフォルニア州では、危機的な電力不足によって100万世帯が停電するという信じられない事件が起きました。競争によりサービス料金が安くなるのは一般消費者にとって、とてもありがたいことですが、同時にサービス停止というリスクを背負わなければならないことを認識する必要があると感じました。今回の特集は、企業事例と題して、競争が激化する電力、通信、金融、製造の最新動向や新技術への挑戦を紹介しました。

● この特集を読むと、どの業界も新たな技術開発を積極的に進めていることが分かります。新たな技術開発によって益々、情報の量は増えてくることは間違いありません。21世紀を迎え、氾濫する情報の中で、本当に大切なものは何か見極めることが重要になってくるように思えます。

● 私事ですが、この1月、我が家には21世紀ベイベ

ーが誕生しました。この子が成人する頃にはどんな世の中になっているのか想像してみると、わくわくするような、ちょっと恐ろしいような微妙な気持ちです。きっとテレビ電話は当たり前、ロボットがそこら辺をうろちょろ歩いて人間とコミュニケーションしているのではないのでしょうか？

● 20年前を振り返ると、携帯電話、パソコン、インターネット、衛星放送は今ほど普及していませんでした。情報を伝達する道具は格段に進歩し、情報伝達手段も多様化したことがわかります。ハードウェアの進歩と共に世の中が急速なスピードで変化している今、新たな技術開発が新たなビジネスを生み出し、世の中のニーズが新しい技術を生み出しているようにも見えます。その一方で、新たなビジネスや競争が思わぬ事件を生み出してしまうことも忘れてはいけない!! とカリフォルニア州の事件は示唆しているように感じました。
(平山克己)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 田口 東(中央大学)

委員 大屋隆生(財電力中央研究所)、北澤英理子(東京ガス(株))、栗田 治(慶応義塾大学)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、田村明久(京都大学)、中川慶一郎(株NTTデータ)、難波和明(東京理科大学)、原 裕淳(株東芝)、平山克己(株住友金属システムソリューションズ)、松村良平(東京工業大学)、宮崎知明(富士通(株))、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成13年3月号 第46巻 第3号 通巻483号

代表者 長谷川利治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 田口 東

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

● 本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

● 本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ